

スタ小新聞



YCC(高学年)



日間賀島ライド

9月のYCC(高学年)では、愛知県にある離島、『日間賀島』にて活動を行いました。師崎港からカーフェリーに乗り自転車と共に海を渡ります。これもまた、子どもたちにとっては特別な体験です。普段のフェリーよりも明らかに人が少なく、ほぼ貸切状態。20分ほどで日間賀島に到着します。日間賀島は一周5.5キロメートル程の小さな島です。そして高低差も少ないので初心者ライダーにも優しい場所となっております。子どもたちも着いたら早速島を一周します。この日は天気も良く最高の自転車日和。海沿いを走る景色、風を切って走るサイクリングはもう最高です。日間賀島の魅力は自転車だけではありません。食べ物もとっても美味しくて有名です。中でも有名なのが『たこ』です。自転車で走っていると、面白そうなお店を発見。よくみてみると、自分でたこ焼きを焼けるお店でした。丁度お昼時で、一応子どもたちに聞くと満場一致で賛成とのことで早速入店。テーブルにたこ焼きプレートが並べられ、具材を持ってきてもらったらいざスタート。子どもたちもお家でやったことがあるのか、慣れた手つきでたこ焼きを作っていきます。誰が生地を入れるのか、たこを入れるのか、ひっくり返すのかを相談しながら自分達でたこ焼きを完成させます。やっぱり自分で作ったたこ焼きの味は最高だったね。お腹も満たされたら、磯遊びをしました。9月の下旬ということもあり、お客さんはかなり少なかったですが、それでもまだまだ暖かい季節でしたので海へ入水。魚や蟹などの生き物探し、

波に流されながら泳いだりとたつぷり海を満喫することができました。楽しい時間もあっという間。気づいたら帰りの時間になっており、あと少しのところフェリーの時間に乗り遅れるところでしたが、なんとか乗船することができました。今回のYCCは自転車を漕ぐというよりは日間賀島をたつぷりと満喫することができました。たまにはこういった活動も面白いですね。しかし、YCC高学年の目標は琵琶湖一周約200キロ(3月までに走破できるように力をつけていきたいと思っています。



10月の上旬から中旬にかけてくるぼうしでは稲刈りを行います。『稲にお花が咲くって知ってる?』『お茶碗一杯にお米何粒あるか知ってる?』などなど、お米に纏わるクイズを出す興味津々な子ども達。やはり、我々日本人にとって一番短かな食べ物のお米は自然と興味が湧いてきます。ネイチャーやどうぼうしでは、稲刈りはできませんでしたが、新米を食べました。普通のお米と新米を食べ比べてもらおうと新米の美味しさにほとんどの子が驚いていました。食事は我々の生活にとって切っても切り離せない大切なものです。四季折々の食べ物を通して食に対する捉え方や考え方が少しでもいい方向に向いてくれるといいなと思います。また、この時期は稲刈りだけでなく、芋の収穫体験も行います。クラスによっては持って帰ってくる子もいると思いますので、是非収穫体験の話聞きながら召し上がってください。

子どもより
大人が
キャンプへ
行くべき

先日、久しぶりにプライベートでキャンプへ行ってきました。普段はソロキャンプが多いのですが、今回はなんと夫婦キャンプです。場所は犬山にある『アウトドアベース犬山』。フリーサイトはそこまで大きくはなく、他のお客さんとも近い環境でしたが、自然に囲まれ非現実を味わうには最高の場所でした。結婚生活5年目を迎えると、最初の頃の初々しさはなく、なんとなく時間が過ぎ去っていくのですが、テレビやインターネットから離れる時間を過ごすと思議と会話が弾みます。過去の思い出話から、将来のこと、お互いの仕事の事など普段はあまり話さない内容も自然と言葉が出てきます。ソロキャンプもいいですが、たまには夫婦で普段とは違う場所・環境で関わるのもいいなと感じることができました。私は夫婦で行きましたが、それが友人でも自分の親でも、子どもでも、誰でもいいと思います。対話するきっかけが作りやすいのがキャンプの魅力の一つです。一人で行く場合は自分を見つめ直す時間にもなるでしょう。外で食べるご飯、焚き火を見ながらホッと一息着く時間、何もかもが特別な体験です。キャンプは始める敷居が高い事で有名ですが、今では、安価で高性能なものがたくさん発売されており、以前よりはミニマルで始められることができますので、一度キャンプへ行ってみてはいかがでしょうか。この時期のキャンプは暑くもななく寒くもなく虫もいません。キャンプをするには最高の季節ですので、おススメですよ。もし行かれた場合は、思い出話を聞かせてくださいね。